

2017年度目録委員会記録 No.3

第3回委員会

日時：2017年6月10日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、平田、村上、横山

<事務局>三浦

[配布資料]

1. 付録#A.2 大文字使用法_20170610（7ページ-A4、村上委員）
2. 付録#A.3 略語および記号_20170610（9ページ-A4、村上委員）
3. 付録#B 三次元資料の種類を示す用語（追加分）と用いる助数詞（5ページ-A4、野美山委員）
4. 付録#B 付 助数詞一覧表（3ページ-A4、野美山委員）
5. エレメント名・語彙等ではない RDA 用語（用語解説追加採用分）（1ページ-A4、渡邊委員長）
6. 付録#F 用語解説 統合版（Excel）暫定リスト（公開済暫定案に収録していないエレメント）（5ページ-A3、木下委員）
7. 検討課題リスト（条文内コメント）（田代委員追記）（18ページ-A4、横山委員）
8. 検討課題リスト（検討集会資料集より）（5ページ-A4、横山委員）
9. 東京検討集会記録（8ページ-A4、津田委員）
10. 2017年度第2回目録委員会記録（案）（6ページ-A4）
11. 2017年度第1回目録委員会記録（4ページ-A4）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認
 - ・2017年度第2回の記録（資料10）を確認した。
2. 検討集会の終了について
 - ・東京検討集会（5月12日）概要報告記事は『図書館雑誌』7月号掲載用に提出済。
 - ・関西および東京検討集会の概要報告記事（『図書館雑誌』5月号および7月号）のPDFファイルを目録委員会のウェブサイトに掲載する。

[検討事項]

1. 付録#A.2 大文字使用法について
 - 資料1に基づき検討した。
 - ・全体的に、属性総則や体现形の規定にある転記または付録の使用についての記載を確認し、大文字使用法で規定すべき内容を整理する。
 - ・NCR2018年版（仮称）の付録の構成をなるべく揃える。そのため、#A.2.0を「範囲」とし、冒頭に「本規則では、…大文字使用法を規定する。」を置く。

- ・以下、#A.2.1 に「通則」を置き、#A.2.1.1、#A.2.1.2、#A.2.1.3、…と文字種を続ける構成とする。文字種の並び順は、原綴→ローマ字、翻字→漢字仮名まじり形等とする。
- ・「個人・家族・団体、場所の名称」「著作のタイトル」「体现形のタイトル」…は、#A.2.2、#A.2.3、#A.2.4、…と1つずつ項目番号をずらす。
- ・「注記」「要素の詳細」は、規定の内容が英語の慣用としてカバーできるものなので、立項せず削除する。また、「合併または吸収された著作のタイトル」の規定の内容も、日本の慣用においては一般的な事項なので、不要とする。

2. 付録#A.3 略語および記号について

資料 2 に基づき検討した。

- ・付録#A.3 のタイトルは「略語」だけで良いのでは。「および記号」は削除する。
- ・NCR2018 年版（仮称）は全体として略語を使用しない方針であり、その中でも特に使用するものを付録#A.3 で規定することになる。そのため、属性総則や体现形の規定中の略語使用についての記載を確認し、必要な事項を整理する。例えば、「#A.3.1 個人、家族、団体、および場所の名称」「#A.3.2 著作のタイトル」「#A.3.3 転記する要素」等の規定内容は、NCR2018 年版（仮称）本体の条文中でカバーできているはずなので、不要ではないか。

3. 付録#B 三次元資料の種類を示す用語（追加分）と用いる助数詞について

資料 3、4 に基づき検討した。

- ・NCR2018 年版（仮称）の付録の構成をなるべく揃える。そのため、#B.0「範囲」を立項し、「表 2.17.5 に適切な用語がない場合、またはより特定の用語が望ましい場合に、本付録に掲げた種類を示す用語及び助数詞を用いることができる。」といった文面とする。さらに、#B.1「種類を示す用語一覧表」、#B.2「助数詞一覧表」の構成とする。

4. 付録#E. 用語解説について

資料 5、6 をもとに、目録委員会暫定案（2017 年 4 月 21 日）に今後追加する用語の検討等を行った。

- ・資料 5 で検討された 10 項目については、最終確認のうえで用語解説に採録する。
- ・NCR2018 年版（仮称）の体现形の数量や大きさに関連した表形式の用語については、全て抜き出し解説を作成する（約 300 語）。ただし、著作の定型的総合タイトルに用いられる用語「随筆集」や「Essays」などは不要。

5. NCR2018 年版（仮称）の検討課題の再整理

資料 7、8 を中心に、検討を行った。

- ・条文案に残されているコメントと、検討集会資料集からの洗い出しは概ね完了。今後は課題を一つずつ検討し、つぶしていくこととなる。渡邊委員長は優先的にこの作業に取り組む予定。
- ・2017 年 7 月末までウェブサイトからメールで受け付けるパブリックコメント、関西及び東京の検討集会であげられた意見、関係機関からの指摘等についてもリスト管理し、

順次検討を進めていく。

- 付録#A.4「個人の名称のための追加規定」について。資料 7 の項番 106「#6.1.8.4 父称を含む名称」の検討課題として付録#A.4 の適用について記載されているが、付録#A.4 については、一から規定するのではなく、IFLA の「Names of Persons」(<https://www.ifla.org/node/4953>) を参照する案を検討することとした。

次回以降の委員会の予定

7月8日(土)

以上